

結婚・出産特集

里に実り咲くは家族なりけり

第8期 OB 荻野 真央

2020年はCOVID-19の影響で、皆様にとっても未曾有の年となりましたことと存じます。ご自身やご家族、周囲の方に感染被害に遭われた方がもしいらっしゃいましたら、心よりお見舞い申し上げます。

私におきましても、公私ともに多岐にわたってパンデミックの影響に悩まされた1年となりました。下記にて、それらを振り返りながら、近況報告とさせていただきます。

◆仕事編：震撼する欧州

昨年のOB会誌にて、ポーランドの子会社の担当になった旨を記しました。1月に初めての出張をしたのですが、それから2ヶ月を待たずに、第一波が欧州を押し寄せることとなり、その余波は1年が経とうとしている今なお収まる気配がありません。ご存知の通り、欧州では感染者数ならびにそれに伴う政府規制が日本の比ではありません。ポーランドにおきましても、夜間外出の禁止やモール施設の閉鎖、店舗敷地面積に応じた来客人数の制限、飲食店での店内営業禁止など、強力な措置が断続的にとられることとなりました。直接的な営業禁止に追い込まれることのなかった菓子メーカーではありますが、衛生管理徹底による商品の安全・安定供給やとりわけ製造ラインにおける一次・二次感染の防止、事業計画の乖離と補正など、日本側からの後援業務ではありましたが、その対応に追われることになりました。

世の中の娯楽が大きく制限される中ではありましたが、改めてお菓子が世の中に貢献できた1年だったのではないかと思います（私も在宅勤務が増えましたが、ながら食べるの習慣がすっかり定着してしまい、気が付けば3kg近くも太ってしまいました…）。1日も早い事態収束を願いながらも、それまでの間、彼の地にて我々の商品が人々の心と小腹を幾ばくか満たしてくれれば是幸いです。

また、こんな状況下ではございますが、先日再び異動がございまして、今度はタイ担当として、コアラのマーチとトッポのブランディングと世界展開に従事することとなりました。久々の東南アジア担当で少しブランクがありますが、慣れ親しんだブランドに携われるのはやはり嬉しいですね。皆様が再び海外旅行に赴き、その地で私が手掛けた商品・広告を見ていただけるような日を夢見て、頑張っ参ります。

◆家庭編：女天下になっていく荻野家

一昨年に長女の咲実（えみ）を授かりましたが、みるみるうちに大きくなっております。まだしっかり

とは話せませんが、「りんご」や「アンパンマン」など、単語をどんどん覚え、流暢な『咲実語』を話しながら、必死で何かを訴えてくる毎日です。E テレにかじりつきの娘に付き合っているうちに、色んな歌やダンスを覚えてしまうのはきっと、私だけではないはずです。

そして、このコロナ禍ではありましたが、11月に次女の里咲（りさ）も授かり、4人家族となりました。感染対策のため、通院・出産立ち合いもできず、妻には不安な思いもさせてしまいましたが、母子共に元気で帰ってきてくれて、本当に良かったです。わんぱくな長女の子守をしながら、昼夜を問わず3時間おきに泣く次女の世話をするのは、まるで生命力を吸われるかのように大変な（ある意味小野ゼミを思い出さような）毎日ですが、彼女達が日に日に成長する様を見ると疲れも吹き飛んでしまいます。

この1年はろくに遠出や外食も出来ず、不自由な暮らしが続きましたが、家にいる時間や家族と過ごす時間が増えて、個人的にはとても幸せなものとなりました。とはいえ家族でお出掛けもしたいですし、頑張ってくれた妻を誘って美味しいレストランにも行きたいので、こちらも早くパンデミックが収束してくれることを切に願います。

本年はそんな状況の中、また、OB・OG会もWEB会議方式とのことなので、皆様に直接お会いすることができなかったことが心残りです。小野先生や現役生の皆様も、本年度はゼミ活動をはじめ、大学生活全般で大変難航されたのではないのでしょうか。感染対策は長期戦となり、辟易してしまうこともあるかと存じますが、この会誌や総会で心を晴らしながら苦境を乗り越えて、次年度にはまた皆で飲み交せるようになりたいですね。皆様とご家族のご健康とご多幸をお祈りして、また会える日を心待ちにしております。



長女の咲実。とにかく走り回ります。



次女の里咲。まだまだ小さいです。